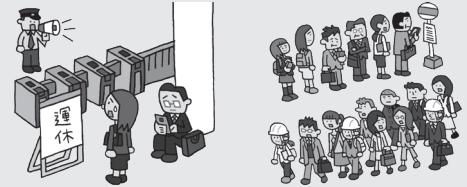


大地震発生後の対応 帰宅困難者になることを想定しましょう！

毎日、上野原市民の多くが通勤や通学などで首都圏を訪れています。ひとたび大地震が発生すると、交通機関の運休などにもない、多数の帰宅困難者の発生が予想されています。そのような事態を想定し、日ごろから準備しておくことが大切です。



外出先で被災したら ～むやみに移動せず、安否確認～

外出先で大地震が発生した場合は、焦らず落ち着いて、一人ひとりが冷静な行動をとることが必要です。

危険を回避し、
安全を確認するまで
行動しない！



むやみに移動しない

- まずは、冷静に行動できるよう、気持ちを落ち着かせましょう。
- 勤務先や学校にいるときは、施設の安全が確認できたら、しばらくとどまりましょう。

まずは安否確認

- 災害用伝言ダイヤル「171」や各社の災害用伝言板、「LINE」、「facebook」、「Twitter」などを活用し、家族や職場と連絡をとりましょう。

お互いに助け合う

- 帰宅が可能になるまでの間、周りの人たちとお互いに助け合いましょう。
- 負傷者を見かけたら、周りの人たちと協力して対応しましょう。
- 高齢者、乳幼児、障害者などの避難行動要支援者を優先的に支援しましょう。

正確な情報を基に行動

- テレビやラジオ、公共機関が提供する情報を入手し、正確な情報を得よう心がけましょう。
- 正確な情報に基づき、安全を確認するまで無理に帰宅するのはやめましょう。

帰宅困難者の行動・9つのポイント

- ① あわてず騒がず、状況確認
- ② 携帯ラジオをポケットに
- ③ ロッカー開けたらスニーカー（防災グッズ）
- ④ 机の中にチョコやキャラメル（簡易食料）
- ⑤ 事前に家族で話し合い（連絡手段、集合場所）
- ⑥ 安否確認、災害用伝言ダイヤルなどや遠くの親戚
- ⑦ 季節に応じた冷暖準備（携帯カイロ、タオルなど）
- ⑧ 声を掛け合い、助け合おう
- ⑨ 作っておこう帰宅地図